



生徒のみなさんへ

● 体育大会を振り返って

先日、第26回枝光台中学校体育大会を無事に開催することができました。当日は、生徒一人ひとりが競技に真剣に向き合い、仲間と声を掛け合いながら最後までやり抜く姿が、グラウンドいっぱいに広がりました。特に、バトンをつないだ「全員リレー」では、走る速さだけでなく、仲間を信じて手を伸ばす瞬間の集中と緊張が、どの学年にも感じられました。バトンがつながるたびに、応援席から大きな拍手が起こり、まさに「挑む、つながる。」を体現する場面となりました。

また、どのクラスも息を合わせて挑んだ「大縄跳び」では、跳べた回数に一喜一憂しながらも、失敗してもすぐに立て直し、声を掛け合い、最後まで全力で取り組む姿がとても印象的でした。クラスの団結が目に見える形で表れ、仲間とのつながりが一段と深まった時間となりました。

1年生は、初めての体育大会に緊張しながらも、仲間と励まし合いながら競技に挑む姿が光りました。

2年生は、昨年の経験を生かし、競技にも応援にも主体的に取り組み、学年としてのまとまりが一段と深まりました。

3年生は、中学校生活最後の体育大会として、棒引きやダンスなどの全ての競技に全力で臨み、最上級生としての頼もしさを存分に見せてくれました。3年生の枝光台中魂を、後輩たちが来年度につなげてくれるはずです！

準備・運営・片付けに携わった係生徒の皆さんの働きも、大会を支える大きな力となりました。本当にありがとう！



挑む、つながる。



今年度の体育大会では、勝敗以上に、「挑む、つながる。」の姿勢が随所に見られました。この経験を、これからの学校生活や学習へとつなげていってほしいと願っています。

保護者の皆様へ

体育大会の実施にあたり、保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

当日は、生徒一人ひとりが競技に真剣に向き合い、仲間と力を合わせて挑戦する姿を温かく見守っていただきありがとうございました。これからも、生徒たちが安心して学び、挑戦し、仲間とつながることができるよう、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。